東京都連 創立40周年演武大会

96団体1100名が参集



1，100名が参集した

東京都合気道連盟創立40周年記念・令和7年度東京都合気道演武大会（主催：東京都合気道連盟、後援：（公財）東京都スポーツ協会・（公財）東京都スポーツ文化事業団・（公財）合気会・全日本合気道連盟）が6月15日、東京武道館で開催され96団体・約1100名が参加した。

開会式では大会委員長・井阪有一東京都合気道連盟理事長が開会の辞を述べた。

国歌斉唱に続き大会会長・藤城清次郎東京都合気道連盟顧問・前理事長が「東京都合気道連盟の初代理事長は現道主・植芝守央先生（当時、合気道本部道場長代行）です。当初は39団体でしたが、40周年を迎えるにあたり176団体と大変成長しました。道主をはじめご後援いただいた皆様のご厚意、ご協力、ご支持によるものと感謝申し上げます。ご出席の皆さんの大きな力添え、歴代の会長・理事長、本部道場の先生方、合気道に関わる多くの方々のご尽力の賜物と深く感謝を申し上げます。さらに50年、60年、100年と、後世に正しい合気道を伝えるために団結して進んでいきたいと思います」と主催者挨拶。



植芝本部道場長の演武


植芝道主


藤城大会会長

続いて植芝守央道主が「この40年間、本当に素晴らしい歩みであったと思っております。合気道の素晴らしさと同時に、首都・東京にある合気道本部道場のお膝元で、連盟に加盟している各団体が相互の融和をはかり、日々研鑽を重ね、活動を続けていることが今日の大きな輪につながっています。この素晴らしい合気道を正しく、良い形で後世に伝えていくのが私たちの役目です。ぜひ皆様方にもその気持ちを持って進んでいただきたいと思います。本日は日頃の稽古の成果を十分に発揮していただきたいと思います。今日一日、そしてこれからもずっと、頑張ってまいりましょう」と挨拶を述べた。


井阪都連理事長

来賓祝辞では、寺内定雄（公財）東京都文化スポーツ事業団・東京武道館館長、林典夫（公財）合気会常務理事、宮本鶴蔵全日本合気道連盟理事長が祝辞を述べた後、その他の来賓が紹介され演武へと移った。

演武は第1部・団体演武、第2部・ユース演武、第3部・代表者演武、第4部・本部道場会員演武、第5部・団体演武、第6部・植芝充央合気道本部道場長による総合演武が行われた。

閉会式では大会副委員長・美濃部智子東京都合気道連盟副理事長が閉会の辞を述べた。

約1100名・6部にわたる演武は非常にスムーズに進行され、演武者も心地よさそうに日頃の稽古の成果を披露した。

全日本少年少女合気道錬成大会

令和7年度全日本少年少女武道（合気道）錬成大会が、7月20日（日）午前11時から、東京・千代田区の日本武道館で開催される。

全国の小・中学生を対象に基本錬成を主眼とし、合気道の正しい普及並びに心身の錬磨と相互の親睦を図り、我が国の将来を担う青少年の健全な育成を目的としている。

錬成内容は、基本錬成（基本技の稽古）、演武錬成（各団体ごと2分間の自由演武）。

マレーシア合気道協会30周年記念行事


植芝本部道場長の入身投げ

マレーシア合気道協会（Malaysia Aikido Association＝MAA）は、6月21日から22日にかけて、創立30周年を記念する講習会および祝賀会をクアラルンプール市内で盛大に開催した。

記念行事に先立ち、植芝充央本部道場長、MAA前会長のロウ・ティアン・セン師範、現会長のトニー・ヤップ師範をはじめとしたMAAの役員、MAAと関わりの深い合気会オーストラリアのトニー・スマイバート師範らが在マレーシア日本国大使館を表敬訪問し、四方敬之駐マレーシア特命全権大使に今回の行事開催やMAAの歴史について報告し、交流を行った。

この記念行事には、マレーシアを含む9カ国から26団体、総勢167名が参加。講習会では、植芝本部道場長をはじめ、ロウ・ティアン・セン師範、奈良合気会・窪田育弘師範、トニー・スマイバート師範が講師を務め、入身・転換・転身の体捌きと呼吸力の重要性、そこから展開される多彩な技と合気道の精神性が伝えられた。

講習に参加した会員は、各講師の指導を通じて、技術の向上はもとより、合気道の本質に触れる貴重な機会を逃すまいと熱心に取り組んでいた。

21日の夜には、在マレーシア日本国大使館から四方敬之大使を来賓に迎え、祝賀会が催された。現会長のトニー・ヤップ氏から「この度、多くの方々に囲まれながらMAAの設立30周年を祝うことができ、大変誇らしく、また嬉しく思います。皆様との友情とMAAが培ってきた先達の指導者からの遺産を大切にしつつ、今後の活動に邁進して参ります」と主催者挨拶が行われた。また、植芝本部道場長からは「この度はMAAが設立30周年を迎えられたこと、誠におめでとうございます。現在合気道は140の国と地域に広がっていますが、これは開祖や吉祥丸二代道主を中心に先達が心血を注ぎ尽力してきたからこそ今があります。そしてそのバトンを受け、我々がここにいます。この行事が過去を振り返り、また尊重し、現在を確認する場になること、そして未来につながるものになることを願っております」と祝辞を贈られた。祝賀会はこれまでの歩みを振り返りつつ、今後の発展に向けての決意が新たにされた。

入身転換

先月、梅雨入りしたのも束の間、真夏日や猛暑日が続き梅雨寒（つゆざむ）が全く無い暑い6月となった。

記録的な暑い6月は世界中で起きたようだ。スペイン、フランス、イタリア等が猛暑に見舞われ中でもスペインは46度を記録したそうだ。地球温暖化による負の事例が頻発している。極端な乾燥に伴う干ばつや海水温の上昇による豪雨災害などだ。世界の平均気温の上昇は既に昨年「パリ協定」の目標を越えてしまった。温暖化対策は正に喫緊の課題である。しかし、中国に次ぐ大量の温暖化ガス排出国である米国がトランプ大統領の意向で「パリ協定」から離脱していて温暖化の歯止めが効かない状況だ。トランプ大統領には世界の人々と共生していく概念が全く無いのが残念だ。

そのトランプ大統領が起こした関税問題で世界の貿易も大混乱だ。日本も例外で無く未だに関税交渉は決着をみていない。日本は米国製自動車を買わないし、不足しているというコメも買ってくれないとトランプ大統領は不満を表明している。実際には日本は米国産のコメを今年はかなり輸入しているようだ。しかし殆どが税金を払っての民間輸入だ。ウルグアイラウンドの取り決めで日本はミニマムアクセスとして関税をかけずに年間77万トンのコメを輸入する義務がある。

新聞報道によると政府内でもミニマムアクセスの枠内に米国産のコメを入れる検討があったようだ。備蓄米の放出でコメ価格は少し下がってきたがまだまだである。仮に政府が30万トン程度の米国産のコメ輸入を行うことを表明すれば関税問題の打開にも役立つのではなかろうか。

（可児　晋）

合気道新聞
毎月10日発行
発行所
東京都新宿区若松町17番18号（郵便番号162 0056）
公益財団法人　合気会
（合気道本部道場）
編集人　可児　晋
電　話03（3203）9236(代表)
FAX03（3204）8145
購読料
1ヵ年　2，800円
郵便振替
00150－0－49527番
ご購読は、なるべく上記振替口座をご利用下さい

道歌

太刀ふるひ
前にあるかと
襲ひ来る
敵の後に
吾は立ちけり

新潟県連、設立35周年講習会

5月31日から6月1日にかけて、新潟県合気道連盟（新潟県連）設立35周年記念事業が新潟市内にて開催された。

記念事業の一環で、記念講習会が鳥屋野総合体育館にて行われた。講師には植芝充央本部道場長をお迎えし、新潟県連に加盟する全16の団体や新潟大学合気道部の学生、さらに他の都府県からも参加があり、計約１３０名が参加した。



植芝本部道場長を中心に

１日目の講習会では正面打ちや片手取りなど、入身と転換の体捌きを意識した取り方を中心に展開され、２日目はそれに加えて横面打ちや両手取り、後ろ両手取りなどの転身の体捌きを中心に展開された。植芝本部道場長は2日間を通して、「合気道の技は入身・転換・転身の体捌きと呼吸力という四つの要素で成り立っています。この基本的な動作を大切にしながら日々稽古していただきたいです」と参加者にお言葉を贈られた。参加者は30代の会員や新潟大の学生など若い世代が多く参加しており、雨天にも関わらず熱気あふれる講習会となった。

２日目の午後には記念式典がＡＮＡクラウンプラザホテル新潟にて催され、新潟県連に加盟する道場や団体の長など90名が参加した。来賓には植芝本部道場長をはじめ、公益財団法人新潟県スポーツ協会専務理事　柄澤宏之氏、新潟県議会議員　重川隆廣氏、新潟市議会議員　串田修平氏が出席された。

新潟県合気道連盟会長福島實氏は「今回の35周年事業は新潟県全体でベクトルを合わせ、将来に向けた新潟県合気道飛躍の『きっかけ』としたい」と主催者挨拶で述べ、その言葉通り、記念式典では「連盟の活動実績、課題と対策」が新潟県合気道連盟事務局長小柳健也氏から発表され、新潟県連の今後40周年、50周年に向けた目標が参加者に共有された。また「加盟団体の取組み事例報告」として新潟合気会の玉木駿佑氏から発表があり、会員拡大や新規会員への指導についてなど、新潟合気会で実施されている取組みを紹介していた。

記念式典後祝賀会に移り、新潟県議会議員重川氏により乾杯の発声が行われ、参加者は懇親を深めつつ次の40周年に向けて気持ちを新たに一致団結させて、本記念事業は盛会のうちに閉幕した。（本部道場指導部指導員　有馬隼人）

令和7年度 地域社会指導者研修会

香川

「令和7年度　香川県（高松市）地域社会合気道指導者研修会」が、6月14日・15日、香川県立武道館で開催された。

今回の研修会には中央講師として合気道本部道場指導部の栗林孝典師範とセシナス・アレクシ指導員が派遣された。また、地元講師としては香川県合気道連盟会長の山本熙之師範と同理事長の西原浩師範が務めた。


栗林師範の指導を熱心に聞く

香川県合気道連盟所属の12団体及び関連する大学を含め14日67名、15日50名が参加した。

稽古は1日目の午前、午後各2時間を栗林師範が担当し、2日目の午前2時間は山本師範と西原師範が指導された。午後は、再び栗林師範が担当した。

栗林師範は体術における基本的な内容を踏まえて指導にあたり、山本師範は剣の理合いを、西原師範は杖の理合いを説明された。受講者は暑さにもめげず熱心に2日間の稽古に臨んだ。

（本部道場指導部指導員　アレクシ・セシナス）

宮城

令和7年度宮城県（仙台市）地域社会合気道指導者研修会は、6月21日、22日に宮城県第二総合運動場宮城県武道館で開催されました。

中央講師として合気道本部道場より入江嘉信師範、藤田すみれ指導員をお迎えし、地元講師の宮城県合気道連盟会長の白川勝敏師範、同理事長の吉田洋孝師範を含む4名の先生方の御指導を、連盟加盟の諸団体から128名が参加し、受講しました。

開会式では、主催者として、中村信彦宮城県武道館館長、白川勝敏宮城県合気道連盟会長より、挨拶がありました。また、中央講師として、入江師範、藤田指導員が挨拶を述べ、研修にうつりました。


入江師範の指導

2日間で入江師範による稽古が4時間、白川師範、吉田師範による稽古が1時間ずつ、基本技から応用技まで行なわれました。また講義として、白川師範は天の鳥船の行について、大久康道宮城県合気道連盟副理事長は大本と出口王仁三郎氏についての説明を行い、吉田師範は各人の稽古を始めたきっかけを振り返り稽古及び指導の継続にどのように活かしていくかのグループワークを行いました。

両日とも講習最後の質疑応答では、熱心な受講生たちから多くの質問がありました。それぞれの質問者に対し、ご自身の経験を踏まえて回答され、また平素ご自身の心がけていることなどを披歴され、師範の課題をもって稽古や指導に取り組まれている姿を垣間見るまたとない機会となりました。（宮城県合気道連盟　理事長　吉田洋孝）

小矢部、練成会開く

6月8日、富山県小矢部市立武道館にて合気道練成会を開催させて頂きました。合気道本部道場指導部日野皓正師範、合気道悠風館吉田幸治師範を講師に迎え、午前10時から15時半にかけ、昼食をはさんで行われました。参加者は、海外（ボヘミア合気会）はじめ、北陸を中心に国内6道場から29名となりました。

練成会では、捌きを丁寧に動くよう意識すること、受けでは取りの動きを身体全体でもれなく受け入れられるように集中することが重要であるという日野師範の教示に基づき、熱心に取り組んでいる参加者の姿勢がありました。また、体術に基づいた剣の理合いについて吉田師範の説明がなされ、深淵なる合気道の理解に繋がる場面もありました。

（合気道悠風館　秋島政美）

富山で講習会

富山合気会は、6月7日県営富山武道館に本部道場から櫻井寛幸指導部師範を招いて講習会と演武大会を開催。開催に際し暑さに身体が慣れていないため、熱中症予防を念頭に休憩と水分を十分取るように注意を払って実施した。

第一部は講習会、県内外から11道場33名が参加、櫻井師範は片手取り、横面打ちに対する基本技において、腹から指先まで呼吸力を活かして体軸をぶれないように腰を水平に捌いて、その後に腕の振上げ、相手との位置・間合い・向きに


櫻井師範の指導

した自由な演武は持ち味が現れのびのびとした演武であった。

今回の講習会でも改めて下半身の安定性や中心の重要性、上下の振りの大切さ、相手との向き合い方等など多くを学んだ。今後も教わったことを共有化して楽しく稽古できる環境作りに心掛けていきたい。

（富山合気会　島恵司）

第22回全国高校合気道演武大会

ときに　8月6日（水）（予定）
午前11時半開場
午後12時半開会
午後3時半閉会

ところ　東京武道館

主催　全国高等学校合気道連盟

演武　加盟校演武
植芝充央本部道場長
模範演武

開祖の言葉

武は人のなす技に、喰い込み、喰い合わせ、喰い止まって、その動きと働きに仕組んであります。これは五体の働きであります。よく精進しなければなりません。



創造の武―武の神変は五体の中

心の持ち様が大切

解脱するには心の持ちようが問題となってきます。この心が、己の自由にならねば死んだも同然でありません。

清らかなれば真空の気がいちはやく五体の細胞より入って五臓六腑に喰入り、光と愛と想になって技と力を生み、光る合気は己の力や技の生み出しではなく宇宙の結びの生み出しであります。

武は技と心を結べ

また武は技と光を結ぶ事に力を入れなければなりません。その結びは中心がなければなりません。中心があるから動きが行われるのであります。この中心は腹であります。腹がガッチリしていれば、心は正勝、吾勝に精進できます。

錬磨精進するときは宇宙と気結びが出来、いかほどでも無限に技が出るようになるものです。

（昭和34年6月号）

真空の気は宇宙に充満しています。これは宇宙の万物を産み出す根元であります。空の気は物であります。それがあるから五体は崩れず保っております。

空の気は重い力を持っております。また本体は物の気で働きます。身の軽さ、はやわざは真空の気をもってせねばなりません。空の気は引力を与える縄であります。自由はこの重い空の気を解脱せねばなりません。これを解脱して真空の気に結べば技が出ます。

空の気と真空の気の結び

気がついてはじめて力を出すような事ではいけません。

気構えが自由に出来ておらぬ人には、十分な力は出せません。空の気と、真空の気の置き処を知ることが第一であります。

気が真空の気に結ばれますと、気は宇宙の気と一体となります。

真空の気は宇宙に充満しております。これは宇宙の万物の創造であります。武の神変は五体の中にあります。この力の宿る処、すなわち精気、根気は気が後おしでありません。

五体は宇宙の創造であります。迷い気、邪気、凶気は皆、物の疲れた場合に生じます。故に気のありかたが生きる身の中心となってきます。この気の置き処によって大変な相違が生ずるのであります。

暑中お見舞い申し上げます

全日本合気道連盟
理事長　宮本鶴蔵
常任理事　林　典夫
同　山本高英
同　梅津　翔
他一同

国際合気道連盟
理事長　岡本洋子
事務総長　コーリー・ヒューマン
財務総長　加賀　聡

北海道合気道連盟
会長　尾﨑　晌
理事長　佐藤圭史
事務局長　五十嵐隆行

東京都合気道連盟
理事長　井阪有一
役員一同

オホーツク中湧別道場
道場長　尾﨑　晌
道場長代行　尾﨑かほる
〒〇九九―〇三三六
北海道紋別郡湧別町中湧別北町二二三
電話・FAX　〇一五八六―二―二四二八

青森県合気道連盟
会長　米谷恵司
理事長　片山茂輝
事務局長　山口

秋田県合気道連盟
会長　北嶋貞好
理事長　平塚悟司
事務局長　猿田　役員・加盟団体一同

合氣道盛岡道場
道場長　吉田博徳
夏の雲　遠くながるる

宮城県合気道連盟
会長　白川勝敏
理事長　吉田洋孝
事務局長　亀田　誠

大和合氣修練道場（神奈川）
宮城野合氣修練道場（宮城）
樋渡昭彦
鈴木博之
前田正士
合わせと和の心で稽古してまいります。

茨城県合気道連盟
会長　常井洋治
理事長　飯島悦男　常任理事　五十嵐雅高
常任理事　稲垣繁實　同　海老原弘一
同　桑原　隆　同　大和田幸正
理事・監事一同

水戸合気会
水戸市合気道スポーツ少年団
会長・団長　飯島悦男
会員・団員一同

合氣道木部道場
道場長　木部克規
〒三七一―〇八五二
群馬県前橋市総社町総社三六〇四―一

合氣道修練道場自然館
館長　吾妻正義
〒三五〇―一三二五
埼玉県狭山市根岸一―一七―六
電話　〇四―二九五三―九六七四

合氣道明心会
会員一同

蓮田合気会
会員一同

合気道大宮道場
会員一同

大宮合気道倶楽部
会員一同
〒三三七―〇〇五一
さいたま市見沼区堀崎町
電話　〇四八―六八三―八六八一

浦和合気会
会長　林　昭男

志木市合気道連盟
合気道黎明道場　志木合氣会
代表　三輪　明
会員一同
ホームページ　http://shikiaikikai.main.jp

新所沢合氣道同好会
会長　山口裕之
師範　御手洗　温麿
ホームページ　http://shintokorozawaaiki.jimdofree.com

合気道花見川道場
道場長　齊藤周二
道場生の会　花道会一同

柏合氣会
会長　西川裕一
理事長　宮　等

葛飾合気会
会長　宮田哲哉
http://www.k-aiki.com/

鍬守道場
代表　高橋右

中野区合気道連盟
中野区合気道会
会長　松本肇

荒川区合気道連盟
会長　酒井光雄
副会長　八巻　修

荒川合気会
会長　酒井光雄
副会長　八巻修聡
事務局長　加藤

城南合氣会
会長　小宮山　満

大田区合気道会
会長　尾﨑　晌
〒一四三―〇〇二四
東京都大田区中央五―一八―一
電話　〇三―三七五五―一二五八

神奈川県合氣道連盟
名誉会長・相談役　武田義信
会長　松田良昭
理事長　今﨑正敏

合氣道研究会インターナショナル・本部
代表　武田義信
会長　松田良昭
道場長　武田大雄

創立50周年記念
合氣道青葉塾道場
一技萬錬
本田靖生
〒225-0021
横浜市青葉区すすき野3-2-1
藤パークビル
TEL045-902-1808
http://www.ningenkobo.com/aikidou

合氣道五十嵐道場
道場長　五十嵐和男
〒二五二―〇一四三
神奈川県相模原市緑区橋本五―二〇―二

静岡県合気道連盟
理事長　石原克博
事務局長　西井信晴
電話　〇九〇―三五九六―五九〇一（理事長宛）

尾張合気会
会長　滝本清三
会員一同

暑中お見舞い申し上げます

大手前学院合気道教室
道場長　岩崎一基
〒四五五―〇〇四四
名古屋市港区築三町三―六
電話　〇五二―六五三―〇七四五

一修会
代表　中山栄一

三重県合気道連盟
会長　米川憲久
理事長　中村武久

津市合気道連盟
会長　杉田憲司
役員一同
電話　〇九〇―八五五六―五四七一

岐阜県合気道連盟

富山合気会
代表　島恵司
会員一同
電話　〇九〇―六二七二―二二九四

滋賀県合気道連盟
会長　金子均
理事長　清水正男
（連盟事務局）shiga.aikido@gmail.com

合気道滋賀
本部長　小川良紘
合気道滋賀五誓会
会長　平居忠男

京都合気会
代表　小山照雄
会員一同

和歌山県合氣道連盟
会長　九鬼家隆
理事長　冷水照夫
事務局長　松本一夫
役員一同

合気道熊野塾
田坂光男
西輝男
栗林盛夫
新宮市元鍛冶町一―五―一

大阪府合気道連盟
会長　木村二郎
副会長　田中利明
理事長　須磨弘
役員・加盟団体一同

公益財団法人
大阪合気会
代表理事　田中利明

合気道大阪武育会
会長　木村二郎
理事長　上村和康

合気道　恒心道場
道場長　大坂恒

合気道洗心館
館長　小口信一
電話　〇九〇―六七五八―七八六五
大阪にお越しの折にはぜひお立ち寄りください。

神戸せいぶ館
館長　中尾眞吾

相生會
堀井悦二

合気道正武会
岡山県合気道連盟
主席師範　壬生川堯一
門下生一同

鳥取県合気道連盟
米子合気会　鳥取合気会
倉吉合気会　合気道国府Club

広島県合気道連盟
理事長　渡邊祐司
aikido-hif.jp

山口県合気道連盟
会長　中村克也
電話　〇八二〇―五二―三一九七

高松合気会
会長　西原浩
会員一同
〒七六〇―〇〇一三
香川県高松市扇町一―二十三―三十八
電話・FAX　〇八七―八二一―八七〇四
http://takamatsu-aiki.secret.jp

合氣道敷島塾
名誉会長　工藤泰助
会長　橋本久

一般社団法人
合気道合心館
〒七九一―八〇二三
愛媛県松山市美沢二丁目一―二十二
電話　〇八九―九二三―四三三三
E-mail：aishinkan@mirror.ocn.ne.jp

特定非営利活動法人
日本ミャンマー合気会
理事長　稲垣繁實
理事　野村俊之
東南アジア諸国の青少年育成を支援しています。

央心会
会長　小野浩
副会長　藤谷護人
幹事　山嶋武
中村文子
勝田芳雄
東城あさ
広瀬篤
大沢正一

公益財団法人
合気会　茨城支部道場
道場長　植芝充央
相談役　磯山博　指導部　永島義道
総務部長　稲垣繁實　同　平澤憲次
指導部　大和田幸正　同　秋本英裕
同　磯山俊博　同　川上俊明

東北学生合気道連盟

関東学生合気道連盟

中部学生合気道連盟

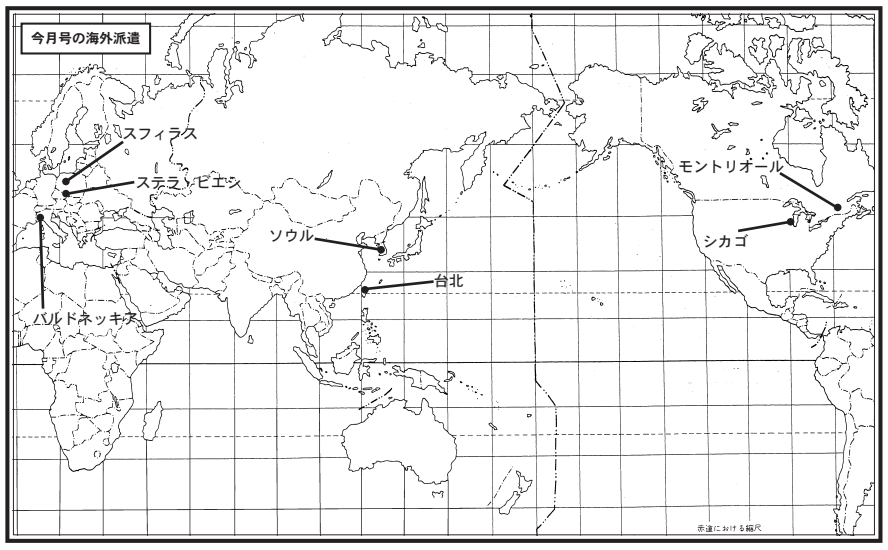
中四国学生合気道連盟

公益財団法人合気会
合気道本部道場

北海道学生合気道連盟

全国学生合気道連盟

ＩＡＦユースセミナー




日野師範を中心に


ＩＡＦユースセミナーで子供たち

私（日野）は、６月11日より17日まで、イタリアで開催されたＩＡＦ主催による10歳から18歳を対象としたユースセミナーに派遣された。12日にミラノに到着し、一日かけて会場となるアルプス山脈の近く、バルドネッキアという街まで移動。ミラノが気温30度とする中、標高１２００ｍのバルドネッキアは20度前後と、運動するには大変環境が整っていた。

セミナーは13日から15日までの３日間行われ、ヨーロッパを中心に９か国より約１４０名が参加した。１時間半から２時間の稽古を４回行い、３日目には演武会が開かれた。

後ろ受身や前後の回転受身、膝行などの基本動作を繰り返し行い、構えと体捌きを丁寧に意識し、第一教


森師範を中心に

や入身投げなどの基本技を徹底的に稽古した。気温は高くないとはいえ、子供たちの熱気は凄まじく、皆大粒の汗をかき、顔を真っ赤にしながら集中して稽古に臨んでいた。セミナーの終盤では心肺機能や集中力の向上を目指した、ある程度負荷をかけた稽古を行ったが、最後まで全員が一生懸命に動いていた。更には稽古の合間に、演武の練習を行う姿も見られ、参加者のセミナーに対する意気込みを強く感じた。

参加者の年齢は各年齢均等に参加しており、男女比もほぼ半々であった。そのため稽古では男女で組むことや高校生と小学生が組むことも多々あり、もちろん同年代で切磋琢磨することが中心ではあるが、年齢や体格差を超えて一緒に稽古に励む様子も見られた。

中高生が小学生の面倒をよく見ており、小学生も中高生への憧れを持っており、国を超えてワンチームとなる子供たちの姿は感慨深いものであった。

ＩＡＦ主催のユースセミナーはコロナ禍で数年ブランクが出来てしまっていたが、今年の再開を機に更なる充実を願う。（本部道場指導部師範　日野皓正）

ポーランドでセミナー開催

私（森）は、５月９日から11日までポーランドにて合気道合気会センターポーランド（ＣＡＡＰ）のセミナーを指導した。

会場はポーランド南部ステラ・ビエシのヨーロッパ武道センター道場。会場は日本風の建物が集まった武道場を中心とした小さな村で、参加者にはお馴染みの場所である。

ポーランド国内だけではなく近隣諸国からも１６０名が集まった。３日間で５クラスを指導した。アットホームな雰囲気の中、参加者は皆セミナーを楽しんだ。

（本部道場指導部師範　森智洋）

台湾で講習会

私（伊藤）は、６月13日から16日まで、台湾の台北市で講習会指導を行った。

羽田からの直行便で３時間半、昨年同様台北の松山空港で、会員が横断幕をもって出迎えてくれた。そこから宿泊先までは車でわずか30分弱。チェックインを済ませて中華料理店に移動し、国際部長の呂先生を始め、協進会の執行部が参加しての歓迎会が開催された。

講習会場は例年の劍譚青少年活動センターが使えず、今回は歴史ある国立台湾師範大学の体育館で行われた。

講習会は土曜の午前午後、日曜午前、それぞれ３時間ずつ行われ、協進会と台湾国内の各団体、香港やシンガポールからの参加者も併せて１１０名が参加した。今回で３回目という事もあって進行は円滑で、参加者も存分に稽古を楽しんだことと思う。



伊藤師範を中心に

台湾の合気道は歴史が長く、また、大学合気道クラブ卒業生等の若い世代も育っており、大いに活躍してもらいたい。送別会では美味な台湾料理に舌鼓を打ち、多くの会員と親交を深め、夏真っ盛りの台北を後にした。（本部道場指導部師範　伊藤眞）

シカゴ夏期セミナー

私（日野）は、６月19日から24日まで合気道親睦会道場サマーセミナーのため、シカゴに訪問した。


日野師範の指導

セミナーは20日より22日まで市内道場で行われ、アメリカ９つの州とイギリス、メキシコなどからの参加、またオンラインでの参加を含め１４０名が集まった。３日間で13時間の稽古が設けられ、地元指導者らと指導を行った。

今年は親睦会道場の20周年ということもあり、ゆかりのある指導者が集まり、各々日ごろの稽古を参加者と分かち合っていた。多くの参加者は、指導者の示す内容に関心を持ち、その時間を丁寧にそして有意義にすべく、高い集中力で臨んでいた。

ASU（Aikido School of Ueshiba）やアメリカ合気道連盟など、親睦会道場以外からも多くの参加者がおり、米国道場内の橋渡しにも繋がったセミナーであったと思う。

（本部道場指導部師範　日野皓正）

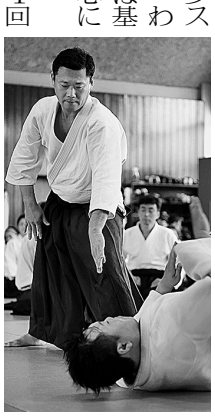
韓国で講習会

私（梅津）は、６月13日から６月16日まで、大韓合気道會（尹大玄会長）主催の講習会のため、韓国のソウルを訪問した。

講習会はソウルＹＭＣＡ内の柔道場を会場に、韓国国内10道場より70名が参加した。週末の２日間で１時間半のクラスが４回行われ、稽古は基本技を中心に展開した。

今回で４回目の訪韓となったが参加者の雰囲気、稽古に取り組む姿勢は回を重ねる毎に活気のあるものになっている印象を受けた。また、若い世代の会員の参加も目立ち、熱心に稽古に励んでいる様子だった。更なる普及、発展に期待したい。

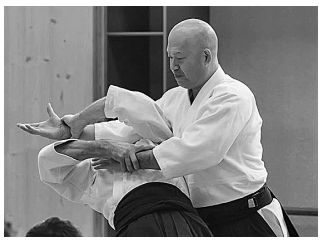
（本部道場指導部師範　梅津翔）


梅津師範の指導

カナダ講習会

私（栗林）は、５月30日から６月３日まで、カナダ東部ケベック州のモントリオールを初めて訪問した。今回は故山田嘉光師範の高弟でもあるAikido De La Montagneのクロード・ヴェルティアム師範のお招きによるものである。

講習会は31日朝からケベック州随一のマギル大学内体育館で始まり、６月１日まで合計６回の稽古を私とクロード師範で担当した。


栗林師範の指導

クロード師範門下の生徒はもとよりカナダ国内東海岸のバンクーバーやアメリカ各地の故山田師範所縁の山水会関係者、カナダ合気道連盟会員、更にはるばる欧州のイタリア、ポーランドからの参加者も含め１１０名が熱心に稽古した。

私にとっては初めての北米での講習会であったが、クロード師範はじめモントリオールの皆さん、更にアメリカ合気道連盟の方々に温かく迎え入れて頂き、充実した３日間であった。

（本部道場指導部師範　栗林孝典）

ポーランド講習会

私（難波）は、５月29日から６月３日まで、ポーランド合気道連盟（ＰＡＦ・マリアン会長）主催の講習会に派遣されました。

ポズナン空港では、主管道場「シン道場」道場長のアダム氏とボイテック氏の出迎えを受け、その後スフィラス市へ移動しました。

講習会は、ＨＡＬＡスポーツセンター（約４００畳）にて行われ、１コマ１時間の稽古が計６回実施されました。ＰＡＦに加盟する57道場から約２５０名が参加し、チェコ、ドイツ、ウクライナ、スペインなどの参加者も見られました。


難波師範の指導

稽古では基本技を通じて、「姿勢の保持」「力を抜くこと」「自然な身体の動き」を重視した指導を行いました。最終日の夕方には、主幹道場であるポズナン・シン道場のアダム師範のご自宅にて、シン道場のメンバーとの懇親会が催され、和やかな夕暮れのひとときを共にしました。

（本部道場指導部師範　難波弘之）

「維持会員」へのおさそい

日頃から格別のご理解とご厚意を賜りありがとうございます。

公益財団法人合気会は、開祖植芝盛平翁の創始した合気道の承継を支援し、合気道による心身の錬成と合気道の普及振興を図り、もって体育の発展に寄与することを目的とし、公益事業を行っています。

これからも、その目的を達成するための合気道のより一層の普及発展をはかるため「公益財団法人合気会　定款」にもとづく「維持会員」へのお誘いを致しております。

つきましては賛同頂き、ご後援、ご援助を賜ることができましたら幸甚でございます。なにとぞご高配のほどお願い申し上げます。

記

1、会員種別

（1）賛助会員　この法人の目的に賛同し、事業を援助するために維持会費として
年額１口２万円　１口以上を納める個人および法人又は団体

（2）特別会員　この法人の目的に賛同し、この法人を後援維持するために維持会費として
年額１口10万円　１口以上を納める個人および法人又は団体

2、維持会員の特典

（1）合気会で主催する演武大会等の行事にご招待を申し上げます。

（2）合気会で発行する合気道新聞、合気道探求などの出版物を贈呈いたします。

お申し込みは（公財）合気会事務局まで

各道場の昇段者

令和７年５月15日～
６月14日
(公財)合気会登録

【四段】

◆熊野塾＝E.Dimitri、S.David、T.Oleg、G.Barbarini◆合気道武友会＝上田学、関根秀信、大橋サトシ、中村勝重◆本郷台合気会＝山下貴士◆志木合気会＝吉野康◆武修館道場＝永谷美樹恵◆央名会春日井武道館＝中浦啓全、石田尾慶隆◆A.K.I. ＝真殿恵蓮◆杉並合気会＝C.Bernstein◆多摩合気会＝渡邉昌人◆大宮合気道倶楽部＝福島喜久◆富士通＝高橋侑士◆城北支部＝O.Ishkov◆長谷川道場＝雨宮健祐◆新川塾＝渡邊重人◆小林道場＝A.Yahya◆合気道無刀会＝宮澤雄一◆TURKEY＝C.Sahbaz◆U.S.A. ＝C. Taylor 、 A. Mann ◆ BULGARIA ＝ L. Velchev、L.Neykov、M.Ficherov、P.Bobadov◆EGYPT＝L.Zaatara、A.Abdulkader、I.Afifi◆FRANCE＝S.Reyt、A.Alvarez◆FINLAND＝J.Airaksinen、T.Glasgow、O.Jauhiainen◆ARGENTINA＝D.Fazio、G.Dohara、R.Flores◆RUSSIA＝V.Celovalnikov、I.Lapshina、R.Struchaev、E.Plehanova、O.Bogdanov、N.Pivovarenko、Z.Adamyan、S.Lapshinskiy、A.Devyatov、I.Snegirev、P.Korshunov◆INDONESIA ＝ I. Lubis 、 R. Eriharyanto ◆ POLAND＝A.Biegalski、M.Soltys、T.Kordeczka、M.Prusak◆IRAN＝N.Ostadrahimi◆BRAZIL ＝ A. Tavares ◆ GREECE ＝ N. Costalas 、 A. Tsantilas、G.Heliotis◆SWITZERLAND＝H.Kral、S.Battistel、T.Mata、M.Reber、C.Raschein、V.Epting、A.Thoma◆UKRAINE＝O.Ivasiuk◆SINGAPORE＝D.Barrett、D.Tan◆U.K. ＝J.Connock、M.Moon◆SPAIN＝A.Arzac、J.Campos、A.Hernandez、R.Palacios◆中華民国台湾＝朱家慶、黄燦雄

【参段】

◆合気道石芯塾＝三宅健作、星屋尊子、日比理紗子◆合気道石芯塾富士合気会＝後藤礼子◆川崎流氣会＝三露学◆秋山兄弟合気道道場＝米田順哉◆パレストラ合気道クラブ(HAKKENKAI TOKYO)＝斉藤智之、鈴木皓、中野一也◆臥龍会＝森谷佳那子、伊藤聡美◆鎌ケ谷合気会＝池田力◆合気道大槌道場＝佐々木貴子◆熊野塾＝B.Christian、B.David、L.Perttu、V.Leclerc、T.Rolf◆合気道武友会＝河野祐一◆A.K.I. ＝S.Saulwick◆多摩合気会＝得能健市、舘ヶ澤優◆大宮合気道倶楽部＝坂本裕子◆大阪武育会＝末石哲之◆里見八顕会本部＝照屋真彦◆くさなぎ道場＝A.Waechter◆長谷川道場＝綱島史典◆三菱養和会武道スクール合気道塾＝関根茂◆合気道大和武育会京都武育会＝岩田一紀◆小林道場＝J.Sahrir◆神武館＝S.Yudaev◆千住合気会＝米田大輔◆合気道近江＝田中宏樹◆ISRAEL＝L.Langleyben◆U.S.A. ＝C.Genzano、R.Bartels、V.Deilen、 M.Ferraro◆ROMANIA＝H.Bica、T. Pantea 、 T. Diaconu ◆ BULGARIA ＝ M. Boteva 、 S. Boteva ◆ ARGENTINA ＝ C. Careaga、Q.Martinez、E.Silvestro、D.Bessio、D.Zaisov、S.Escobar◆EGYPT＝S.Kady、H.Latif、M.Badawy、A.Ali、T.Ahmed、A.Sharief◆IRAN＝R.Vazeh、O.Barazesh、A.Radpour、M.Hakimifard、A.Rejani、A.Zeeai◆FRANCE＝M.Davies、C.Carneiro、G.Collins、D.Kuznetsov、T.Messancy、R.Fontaine、L.Foulloy、B.Nkouka◆FINLAND＝H.Tapio、J.Itkonen、J.Itkonen◆GERMANY＝T.Redlin、I.Flora、C.Krumrey、A.Litfin、M.Reinhardt、B.Mann、S.Ekmann、A.Jabs、P.Preissler、R.Ehmler、M.Pottek、 A.Walenda◆RUSSIA＝A.Cherepanov、R.Karapetian、S.Smirnov、N.Ilyin、I.Maslennikov 、 V. Bombenkov ◆ NORWAY ＝ L. Fjelldal ◆ INDONESIA ＝ M. Hidayat 、 Chaerudin、A.Yakob、K.Parela、Yolanda◆POLAND＝M.Jaroszczuk 、 T.Jaminski 、 R.Burkowski、P.Lankocz、L.Pasztor◆BRAZIL ＝ S. Barbara ◆ HUNGARY ＝ J. Kiss ◆ GREECE＝G.Kaparos、G.Gartzounis◆SINGAPORE＝H.Sielaff、王治证、L.Lye◆SPAIN＝J.Garcia◆U.K. ＝R.Barton、A.Peletidou、G.Bruce◆SWITZERLAND＝S.Sanchez、M.Heider、K.Taureg◆UKRAINE＝O.Karpenko、A.Zherlitsyn◆LATVIA＝R.Beluga◆中華民国台湾＝鄭永欣、石濟維、許碩芬、陳加容

【弐段】

◆川崎流氣会＝南直人◆白岡合気会＝柳美春◆熊野塾＝D.Huepe、R.Rohan、D.Sartori、A.Tuglie◆健身館＝中垣内茂紀◆パレストラ合気道クラブ(HAKKENKAI TOKYO)＝金田竜大◆臥龍会＝上本弘樹◆合気道氣勢会＝張蓉◆合気道武友会＝持田嘉余子、中納郁哉◆合気道鹿児島道場＝西田光秋◆A.K.I. ＝Z.Hary、F.Wall、J.Needham、F.Odefrey、D.Kennedy◆合気道町田教室＝吉沢俊◆長谷川道場＝宍倉和美、成島誠、浜田久道、水田真侑◆三菱養和会武道スクール合気道塾＝村崎久成◆合気道敬道館道場＝山下哲生◆合氣道和合会＝森由美子◆合氣求和会前沢道場＝越智至清◆合気道氣噴道場＝島﨑達也◆合気道平出道場＝岡田朋子◆竹の氣クラブ＝鈴木北斗◆神武館＝D.Andriyanov◆合気道近江＝上久保貴正、林勝美◆小林道場＝R.Hidayat、 L.Hermawan、R.Gozali、A.Trihandayani◆日本大学合気道部＝栗田季歩、井上慶太郎◆鹿児島大学医学部歯学部合気道部＝西村康介、宮崎祐慈◆U.S.A. ＝A.Ward、A.Watts、P.Giuliano、J.Exley、C.Cain、R.Haeussler、O.Navarro、R.Twogood、S.Richardson◆ROMANIA＝A.Inoan、P.Alexandrescu、A.Iacob、R.Romaniuc◆SWEDEN＝C.Johansson、M.Baltra、R.Sabarov◆IRAN＝A.Malayeri、N.Gharibvand、M.Abbasi◆BULGARIA＝G.Andreeva、P.Dinev 、 A. Serbezov 、 I. Iliev 、 R. Komitova ◆ EGYPT ＝ A. Abdulrazek ◆ FRANCE ＝ C. Dumerval、L.Malras、O.Berson、A.Barrou、S.Barande、N.Bienvenu、P.Augustin、J.Barille、X.Leopold、F.Ambroise、G.Marcelino、J.Dubos◆FINLAND＝M.Bjorklund、J.Kuparinen、A. Dernjatin 、 K. Roininen ◆ RUSSIA ＝ A. Korovin、A.Voyakin、A.Biryukov、V.Ripa、A. Pautov 、 N. Kudelina 、 V. Burdakov 、 A. Mukha 、 D. Sirotinin 、 K. Kasachev 、 D. Yurchenko、A.Filatova、A.Bykov、A.Fedorov、A.Shishkin、S.Osipov、K.Dimitrienko、S.Barakin、R.Mozheitov、O.Arkhangelskaya、S.Manaenkov 、 V. Ivachev ◆ NORWAY ＝ H. Pham◆INDONESIA＝K.Nugroho、Indah、Calvin、M.Burhan、A.Wahyudi◆POLAND＝B.Szostek、 A.Napiorkowski、 M.Gladysz、D.Skwara、W.Cholewa、D.Sitkowski、R.Majewski◆韓国＝具齊永、崔桓◆HUNGARY＝A.Farago◆GREECE＝E.Gkatzogianni、A.Alexandrakis、V.Pavlou、R.Gilbride、K.Krou、G.Tsaskopoulos、V.Diamantopoulos、T.Balalas◆INDIA＝吉川景子、 P. Sen ◆ SINGAPORE ＝ N. Farhana ◆ SWITZERLAND ＝ B. Widmer、F.Mathis、M.Meyer、D.Cambefort◆AUSTRALIA＝J.Sowerby◆UKRAINE＝A.Kurdytskyi◆ARGENTINA＝D.Forchetti、M.Colon、 W.Valenzuela◆GERMANY＝D.Sansous、K.Haas、M.Butz、M.Schatz、A.Lienshoeft、M.Schueler、M.Mentzelopoulou、V.Jakovlev◆SPAIN＝R.Urtasun、A.Cruzado、D.Alonso、R.Hernandez、R.Cruz、D.Carbonell、J.Horno◆AUSTRIA＝I.Guley◆TURKEY＝S.Bilgic、E.Bilgic、K.Taylaner◆中華民国台湾＝韓德生、張愷井、陳文祥

【初段】

◆自灯館＝小松徹◆川崎流氣会＝鈴木茂◆秋山兄弟合気道道場＝安岡佳音◆岩手釜石道場＝関大輔、 関和子◆熊野塾＝R.Fache、A. Hurand 、 D. Sempere 、 C. Marginean 、 S. Giquel、C.Fleury、F.Meoni、B.Chapuis、A.Sabato◆新所沢合気道同好会＝今井路子◆合気道武友会＝岸直子◆合気道鹿児島道場＝樋崎香、長井理恵、安部智代◆A.K.I. ＝G.O'Rafferty、P.Chen、N.Le◆祥平塾＝B.Bart、J.Schmid◆合気道町田教室＝古田守◆神武館＝鈴木海琴、I.Ganiev、K.Suptelya、S.Suptelya、M.Shemetov◆神明塾＝吉田彩芽◆杉並合気会＝J.Ambrosius◆青葉塾道場＝吉村昌典◆多摩合気会＝木村絢菜、畑中茂、小林辰彦◆大阪武育会＝酒井健治◆伊豆至誠会＝高橋くるみ◆武産館＝木村歩睦◆札幌合気道会＝平川勝気◆津島道場＝内田涼雅◆長谷川道場＝金子大輔、牧野光琢◆合気道敬道館道場＝久保直樹◆合氣道和合会＝田中誠◆新川塾＝海雲美凪、鈴木謙太郎、小畑雅哉、花田良信、岡田健一◆合氣道立志館＝奥野美柚、長岡陸、田中海凪◆合気道燦武館＝笠島優太◆千住合気会＝松澤一鶴◆合気道香久山＝岩本光博◆合気道無刀会＝髙﨑香澄◆延心館道場＝金森真也◆上毛合気会＝藤井利次◆小林道場＝I.Priambodo、 R. Apriyanti、 F. Paramitha、 D. Rizky、 A. Fardaz◆仙台合気会洗心塾修練道場＝山田昌宏、近藤直洋◆昭和第一学園高等学校＝岸紗菜、大場彩加◆四天王寺高等学校＝長岡小夏◆兵庫県立東播磨高等学校＝与茂田凛、永田六花、室屋七星、想田凛、島田悠妃、寺田彩乃◆関東学院大学＝高橋宙希、高田美慧◆北九州市立大学＝二村柚綺◆鹿児島大学医学部歯学部合気道部＝大樂美南海、田中維吹◆日本歯科大学＝福永一博、酒寄まりな、小寺隆文◆明治大学生田＝木村希蒔郎、古村龍之介、齋藤就元、水野優香、清水翔真、三田真吏、佐藤来美、髙石朋奈、保坂紘太、滝澤紗葵良◆U.S.A. ＝K.Gross、D.Casey、J.Reisinger、E.Shroder、F.Skeen、G.Skeen、L.Minnix、A.Salazar、A.Benlian、D.Boyer、R.Berry、D.Lanchuske、S.Hodgkinson、S.Kuz、T.Doan◆IRAN＝I.Zeeai、M.Shabestari、S.Daliri、A.Tanoomandian、M.Arvanloo、R.Martazi、H.Alijani◆ROMANIA＝A.Enache、S.Ghimposanu、B.Draghici、D.Valcaneantu、I.Popa、V.Lutz、I.Moiseanu、I.Ion、Z.Hamzi、E.Baditoiu、A.Florescu、S.Romaniuc◆DENMARK＝K.Olsen、 A.Kovalovszki、 T.Praestegaard◆SWEDEN＝V.Voolfson◆BULGARIA＝D.Angelov、P.Lachkov、M.Raykov、D.Milchev、V.Georgiev、 E.Ivanova◆ARGENTINA＝S.Cattafi、B.Lefcovich、M.Pacheco、D.Bosco、L. Rios ◆ EGYPT ＝ W. Ali 、 G. Mostafa ◆ FRANCE＝C.Prat、J.Encarnacao、J.Chapman、M.Rolland、E.Ortiz、P.Soares、A.Barrou、E.Sabre、R.Quillevere、H.Baumann、D.Camara、F.Chiaramonte、D.Fremy、C.Guichet、P.Legrand、R.Lourdelle、 H.Moreau、S.Nguyen、B. Caeneghem 、 P. Ramos ◆ FINLAND ＝ P. Gerdt、A.Hyvarinen、I.Hogstrom、E.Nurminen、M.Savolainen、N.Silenius◆SWITZERLAND＝A.Kleymenov◆GERMANY＝J.Bellmann、J.Mose、J.Philipps、K.Brandner、G.Hecht、R.Ziemer、L.Haueis、C.Maisch、F.Wulf、P.Conrad ◆ LIECHTENSTEIN ＝ F. Berset ◆ LITHUANIA ＝ V. Samonis ◆ NORWAY ＝ T. Pereira◆INDONESIA＝N.Sianipar、J.Rachmat、H.Wiradinata、M.Andriani、A.Beatrice、G.Obertha、H.Richie、Jurvian、D.Ariandi、H.Putra、V.Kafin、S.Sidik、S.Hadi◆POLAND＝J.Sterczewski、 W.Rybak、 A.Hetmanczyk、S.Adamczewski、T.Byczek、K.Kufel、M.Lewandowski、 M.Cwiklinski 、 A.Kawka 、 W.Cagielkowska、J.Budek、T.Niedzialkowski、P.Grzejdziak、A.Lukaszewski◆BRAZIL＝J.Forin、L.Capovilla、A.Oda、F.Romero、G.Oliveira、L.Colita、V.Franca、H.Paiva◆韓国＝崔榮錫、姜銓浩、成熙衍、權玟澈、朴漢昌◆RUSSIA＝A.Kalashnikov、P.Vinokurova 、 A. Pisarenko 、 I. Zaborskikh 、 L. Grabchenko、G.Petrenko、M.Gerasimova、I.Azizov、D.Krylov、A.Kas'Yan、V.Agafonov◆HUNGARY＝G.Szabo、R.Gyorgy◆GREECE＝P.Kafritsa、P.Kloutsiniotis、P.Bekas◆SINGAPORE＝刘诗慧、潘安聖、黄思宇、罗克、D.Wong、楊顯融◆INDIA＝V.Vyakaranam ◆ MACEDONIA ＝ D. Nikolovski ◆ AZERBAIJAN＝J.Gurbanli、 V.Rustamov、 A.Parmaksizoglu ◆ SWITZERLAND ＝ A. Aebischer、A.Kron、C.Voitzwinckler◆AUSTRALIA＝A.Hansen、J.Mancini、S.Dieu、R.Becket、L.Tran、F.Kolarov、D.Phillips、R.Setiawan、G.Alexander、A.Kalaitzaki、R.Valera、V.Battaglini、 A.Hocking◆UKRAINE＝I.Mudryk、S.Ladaniuk、A.Yatsii、D.Yatsyk、D.Fedoruk、A.Patsan◆SPAIN＝I.Acedo、 D.Prado、 G.Stephanie、J.Sanchez、A.Grasso、A.Anabeitia◆TURKEY＝N.Macit、 A.Yildiz、 K.Filiz、T.Yuzal、E.Iriz、A.Yucel、D.Cifdaloz◆CANADA ＝ H. Tremblay ◆ SLOVENIA ＝ T. Davinic、N.Docinski、M.Milosevic、I.Ainutdinov、T.Strmsnik、A.Franc、N.Petrovic◆中華民国台湾＝黃健銨、洪振華、高旭廣、錢紘暉、陳彰沛、李雨柔、吳斐翔、鄭頤、曹瑞伯、吳宸菱、吳鈺茜、王筠絜、林峻瑋、邱郁娟、卓世達、鄭良禎、黃婷筠、歐陽家瑩、黃孝如、江致嫻、丁郁芬、簡峻鴻、王寶玉、萬容君、連子瑄、K.Ko、N.Ko、林弓喨、陳曉龍、朱庭逸